

ブックオフコーポレーション株式会社

2010年3月期 第2四半期決算概況

2009年11月11日

ブックオフコーポレーション株式会社

(東証一部:3313)

【連結】2010年3月期 第2四半期累計期間連結業績の概況

- ・ 第2四半期連結累計期間損益はブックオフ事業、リユース事業共に好調により計画を大きく上回る
 - ・ 営業利益：計画比+68.3%、経常利益：同+67.6%
 - ブックオフ事業、既存店好調に加え新店も計画を上回る
 - 主要連結子会社も経常利益計画を上回り、連結業績に寄与
- リユース事業子会社 経常利益額計画比 +86百万円

【単体】2010年3月期 第2四半期累計期間単体業績の概況

- ・ ブックオフ単体好調 単体の第2四半期累計期間損益は計画を上回って推移
- ・ 営業利益：計画比+63.8%、経常利益：同+60.2%
 - 既存店客数前年越え継続中（15ヶ月継続中）
 - 第2四半期累計期間（4～9月）売上高前年比 既存店+5.9%。全店+9.3%

業績前年同期比・計画比の表を最後に記載しております。

ブックオフ事業、リユース事業好調 (経常利益計画比+67.6%)

主力であるブックオフ事業が、利益計画を大幅に上回り、単体業績の経常利益計画比+60.2%、連結業績が計画比+67.6%となりました。

既存店客数は14ヶ月連続（2009年10月まで15ヶ月連続更新中）で前年比を上回り、販売客数増加による好調は続いております。ゲーム部門の売上も中古ゲームハード機の本格取扱いなどで、引続き高い前年比を達成しております。

当第2四半期累計期間中に、今期の出店計画の柱の一つである大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR（中古劇場）」3館への出店を含め、グループ店舗は27店舗（非連結子会社の2店舗を含む）出店しました（うち複合館内15店舗）。

これら大型店の出店や、昨年連結子会社となった㈱ワイシーシー、青山ブックセンター(株)の2社、34店舗の売上が寄与し、連結売上高は昨年比+30.5%と大きく伸びました。（計画比+1.8%）

粗利益に関しては、連結粗利益率は前年比で△5.8%pとなりました。理由としては収益構造の違う上記2社が連結対象となることに加え、主にブックオフ事業である単体の粗利益率も△2.6%pとなりましたが、ブックオフ事業の強い仕入力と積極的なロスの活用により、商品の回転率を高めたことで、既存

店売上の増加による既存店の粗利益額+236百万円を含み、連結粗利益額では前年から3,056百万円を上乗せしました。

また、前期直営店全店に簡易査定端末機を導入したことによる店舗における生産性の向上や、複合館一体で採用することでのパートアルバイト募集費用の削減や、出店家賃の低下なども加え、販売管理費比率を前年比△7.7%p削減いたしました。

これらの結果、連結経常利益は計画比+67.6%の1,341百万円と大きく計画を上回りました。

【新店好調】

今期出店した店舗の個別の概要については、ブックオフ事業、リユース事業ともに、順調な立ち上がりです。今期及び前期出店店舗の経常利益計画比+134百万円となり、今期の利益上ぶれの大きな要因となりました。特に9月に開店した「BOOKOFF SUPER BAZAAR 鎌倉大船」は、初日の売上が11百万円を越え、複合館として過去最高の売上を達成、また出店2ヶ月目には単月黒字化を達成しました。

第2四半期までの出退店に関しては下表をご参照下さい。

各セグメント別実績

【ブックオフ事業】

- 当第2四半期累計期間に9店舗出店しました。
- 当第2四半期累計期間のグループ直営店の既存店売上は前年同期比+5.9%でした。
- 既存店の売上客数が、15ヶ月連続で客数前年比を超え続けております。
- 今期出店の新店の5店舗中4店舗が単月黒字化を達成いたしました。

【リユース事業（キッズ・婦人服事業及びその他事業内のリユース事業）】

- 当第2四半期累計期間に、リユース事業16店舗出店しました。（BOOKOFF SUPER BAZAAR（中古劇場）としては3館出店）
- 当第2四半期累計期間のリユース事業全体の既存店売上は前年同期比+5.8%でした。
- リユース事業は、課題である早期利益化への取り組みを実行し、09年3月期に出店した店舗について、計画を大きく上回り計画+28百万円となりました。

【TSUTAYA事業】

- 当第2四半期累計期間に、1店舗出店しました。
- 当第2四半期累計期間のグループ直営店の既存店売上は前年同期比△5.4%でした。
- TSUTAYA店舗での、CD、DVD等の販売の低迷が続き、売上は計画に対して△5.0%と若干未達でしたが、規模のメリットによるボリュームディスカウント効果や、該当子会社本部費用のコスト削減などにより、利益は計画を上回りました。

当社グループ店舗 出店の状況(2010年3月期第2四半期) (参考)FC加盟店店舗出店の状況

	出店	退店	純増数	今期出店計画 (内、上期計画)
合計	27	15	12	28(19)
BOOKOFF店舗	9	12	-3	9(5)
自社リユース事業店舗	14	2	12	19(14)
その他、TSUTAYA等	4	1	3	

出店	退店	純増数
14	12	2

大型複合店(BOOKOFF中古劇場、BOOKOFF SUPER BAZAAR)として3館出店

第2四半期累計期間 実績

単位:百万円(単位未満四捨五入)

連結業績	2010/3期	第2四半期実績		前年同期 実績	第2四半期 計画
		前年同期比	計画比		
売上高	34,601	130.5%	101.8%	26,508	34,000
営業利益	1,178	295.5%	168.3%	399	700
経常利益	1,341	271.8%	167.6%	493	800

単体実績	2010/3期	第2四半期実績		前年同期 実績	第2四半期 計画
		前年同期比	計画比		
売上高	21,842	111.0%	102.5%	19,677	21,300
営業利益	1,261	163.8%	163.8%	770	770
経常利益	1,282	161.2%	160.2%	795	800

通期計画について (来期以降に最高益を達成する体制に向けて)

通期計画については、以下の理由において、現時点での業績見通しを据置します。

- ① 期初計画において当期の利益構成は下期に比重が大きい。
- ② 下期に出店する大型店(名古屋みなど、池袋、町田)の通期業績への影響を見極める必要がある。

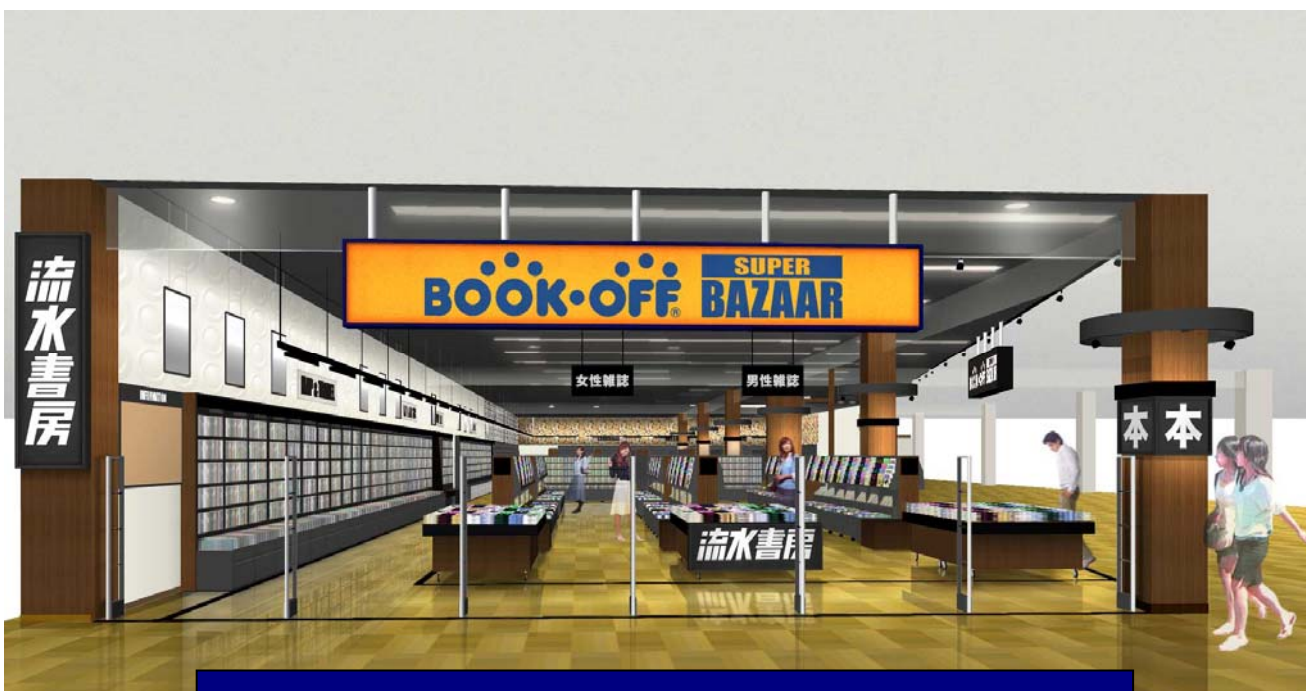
加えて、来期以降の業績にプラスになる出店、リニューアルなどの店舗への投資や、業績拡大のための企画部門、支えるための管理部門の増強など、すべては来期以降の利益拡大に向けて積極的に投資していく。

店舗出店とリニューアル等の再投資費用として1.5億円を予定
本部強化(管理部門・企画部門の強化)として1.0億円を予定
スクラップアンドビルドに伴う、店舗閉鎖費用1.0億円を予定

上期の費用に予定していたものが、一部下期費用へと回ったもの 1.0億円

今後のトピックス

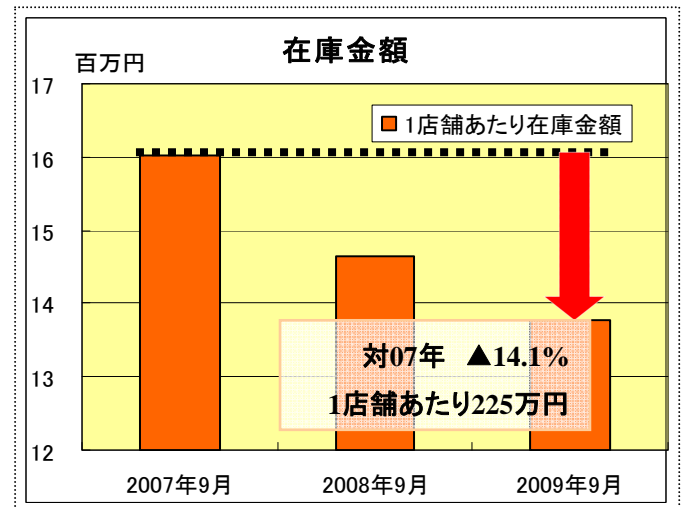
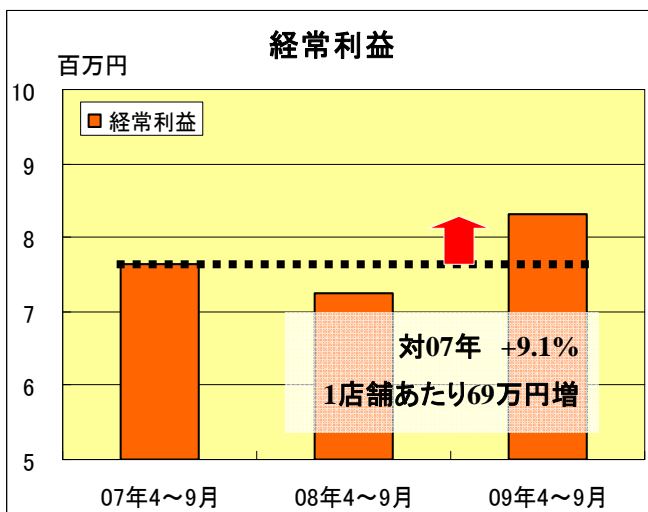
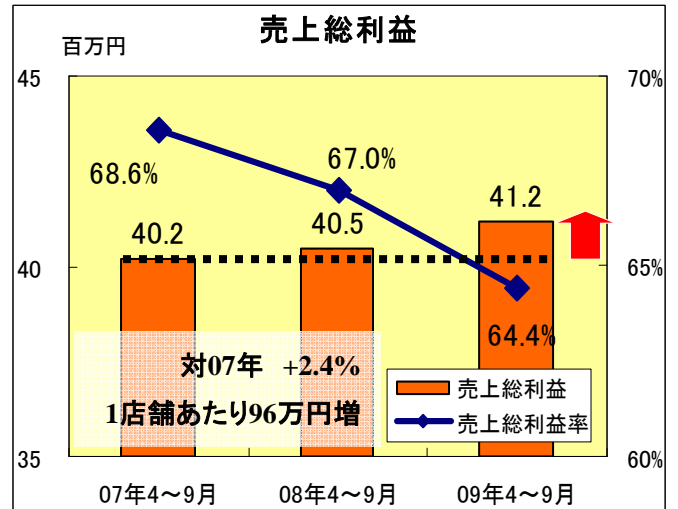
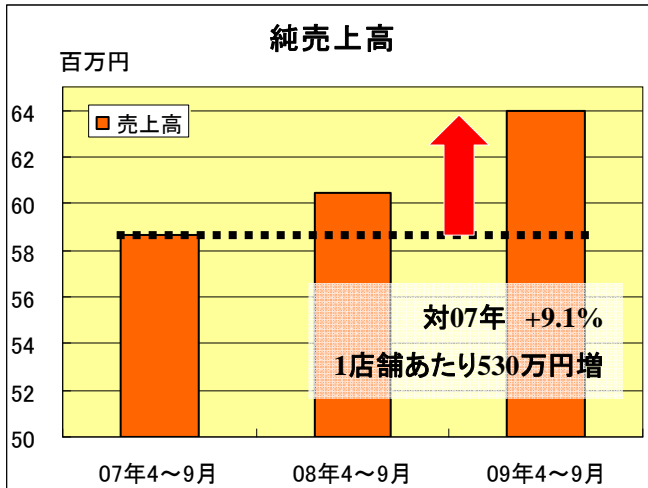
- ・ 11月 全国最大級「BOOKOFF SUPER BAZAAR カインズモール名古屋みなと」にブックオフグループ初の新刊書店を出店。
 - 新刊・中古書籍 40 万冊、東海地区最大級の書店
ブックオフから新刊書店への送客の可能性を追求。ブックオフ・新刊書店の相乗効果を最大に。
【ブックオフ】中古本 MD の展開（本への入り口を広げる）
 - ・ 昔のベストセラー、現在連載中のコミックの既刊を通して、本の楽しさを知ってもらう
 - ↓
 - 【流水書房】最新刊、趣味本など
 - ・ 最新刊、話題作など、ブックオフでは買えない本を購入
 - 顧客にとって、ファーストチョイスとなる、東海地区最大級大型書店を目指す。
 - 全国最大規模の「BOOKOFF SUPER BAZAAR」、家族が一日楽しめる周遊型店舗。新規顧客にも従来の中心顧客にも訴求できる販売促進を目指す。
-
- ・ 11月に都市型大型店を池袋に、12月に過去最大規模店舗を町田に
 - 秋葉原駅前店、渋谷センター街店に続く都市型大型店を池袋に出店
メガターミナル駅である池袋に秋葉原駅前店より大きな BOOKOFF を出店
 - 過去最大規模の店舗を町田に出店、売場坪 677 坪、4 層の超大型店



BOOKOFF SUPER BAZAAR カインズモール名古屋みなと 新刊書店『流水書房』

参考資料 (ブックオフ事業 1店舗あたり上期実績3期比較)

1店舗あたりの売上高、売上総利益額、経常利益額が向上。在庫金額は圧縮。



※売上高、売上総利益、経常利益は1店舗あたりの4~9月の累計値。在庫金額は9月末時点残高。

集計対象店舗は全ての期間で営業していたブックオフ店舗 251 店。